

「京地どり」の生産拡大を支援

京都府が作出し、令和2年にリニューアルした「京地どり」は、飼いやすく発育も良いため、飼養希望者が増加傾向にあります。そのため、京地どりの生産者・流通業者で構成する「京地どり生産・流通推進協議会」では、京地どりひなの供給体制強化を進めています。その一環として、今年度、当センターでは、種卵採取やひな生産を補完的に支援する取り組みを開始しました。

8月には京地どりのひなの譲渡を開始し、3月26日に今年度最終の譲渡を終えました。この半年間で新規および既存のべ8農場に計1,645羽の京地どりひなを譲渡し、生産者からは、「ひなが足りずに困ったが、畜産センターの取り組みのおかげで助かった。」と、感謝の言葉をいただきました。

今後も京地どりひなを安定的に生産し、飼育希望者に滞りなくひなを供給することで、「京地どり」の生産拡大を支援していきます。



ふ化したばかりの京地どりひな



3月26日に今年度最後の京地どりひなを譲渡